

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算見込額	活動指標名（業務量の指標）	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の方向性
63	新居支所	新居支所	02	01	19		木曾町児童交流事業	文化交流親善友好都市として、本市と木曾町との交流の一環として児童交流を実施。	新居小5年生が木曾町を訪問（スキー交流） 木曾町内小学6年生が新居町を訪問（海の交流） ※いずれも1泊2日	木曾町へ（新居小5年生スキー交流165人、木曾町内小学5年生98人） 木曾町から（木曾町内小学生6年生72人、新居小6年生160人）	1,423	木曾町内小学生の延べ参加人数	人	150	170	B	B	C	C	C	C	原点に戻って、目的にあった事業及び相応しい所管部署を決める必要がある。	改善(その他)
542	社会教育課		10	06	01		社会教育委員会の開催	社会教育法第15条第の規定により湖西市社会教育委員を置く。社会教育に関する計画の立案や調査研究、社会教育に関して教育委員会に助言をする。	社会教育委員会の開催、社会教育研修への参加により社会教育の推進を図る。	委員10名、任期2年、年間4回開催した。 生涯学習推進計画策定の内容検討を行った。	551	社会教育委員会開催回数	回	5	4	C	A	A	A	A	法的に決められているため必要。	継続	
543	社会教育課		10	06	01		社会教育指導員設置事業	社会教育の推進を図る	社会教育指導員を設置し、社会教育の推進を図る	指導委員4名、家庭教育推進、相談業務を行った。	4128	社会教育指導員の設置数	人	4	4	A	A	A	A	A	教育一般に関して豊かな職見を有し、社会教育に関する指導技術を身につけている者が、社会教育事業をすることにより、社会教育の振興を図ることができる。	継続	
549	社会教育課		10	06	02		家庭教育学級	子どもたちを健やかに育てるために、家庭教育力の向上を目指す。	小学校1年生を持つ保護者を対象とした家庭教育の学習会を開催し、家庭教育の充実をさせるための機会を提供する。	小学校1年生を持つ保護者を対象に、家庭教育の重要性を認識し、保護者が一定期間にわたって計画的・継続的かつ集団的に学習を行った。 6学級 165人参加	381	対象者に対する参加率	%	35	31.9	C	A	A	A	A	A	家庭教育をサポートするためには必要。	改善(その他)
552	社会教育課		10	06	02	★	おちばの里親水公園管理事業	自然体験、親子ふれあい、仲間との交流を提供することにより、人づくり・仲間作りを推進する。	自然豊かな「おちばの里親水公園」を生涯学習の場として維持管理する。	知波田地区に平成16年11月に開園した「おちばの里親水公園」の公園内の清掃及び除草・ごみの処理・トイレの清掃を行った。 利用申請受付数 4,688人	1151	公園利用者数(申請分)	人	4500	4688	A	A	A	A	A	A	生涯学習の場とし、管理していく必要がある	継続
554	社会教育課		10	06	02	★	放課後子ども教室推進事業	学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の教育力の向上を図る。	放課後に学校の教室を利用し、地域の参画を得て子どもたちに学習・スポーツ・文化活動・体験活動の場を提供し、安心安全な放課後教室を開催する。	放課後子どもプラン推進事業運営委員会において、放課後子ども教室の計画と運営について協議し、市内6校の小学校で実施した。	3251	放課後子ども教室申込者数	人	300	245	C	A	A	A	A	A	国の施策であり、放課後の子どもたちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要	継続
555	社会教育課		10	06	02		学校支援本部事業	未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む。	地域住民がボランティアとして学校活動を支援する学校支援地域本部を設置し、地域全体で教育に取り組む。	児童及び生徒の健やかな成長と地域の教育力の向上を図るために、白須賀小学校、白須賀中学校、知波田小学校に支援本部を設置し学校支援を図った。	1764	支援本部設置数	校	3	3	A	A	A	A	A	A	学校・家庭・地域との連携を図っていくためには必要。	継続
564	社会教育課		10	06	04		青少年問題協議会の開催	地域青少年問題協議会法第1条第の規定により湖西市青少年問題協議会を置く。青少年の指導育成や保護等に関する総合的な施策について審議する。	青少年の健全育成のため、青少年問題協議会を開催する。	委員25名、任期2年、年間1回青少年センター運営委員会と同時開催した	113							A	A	A	A	法的に決められているため必要。	改善(その他)
565	社会教育課		10	06	04		青少年健全育成大会の開催	青少年の健全育成を目指す	青少年の健全育成のため、健全育成大会を開催する。	青少年健全育成に対する理解と自覚を高めるため、小中高校生による「少年の主張」「地域の健全育成活動紹介」を実施した。	205	参加者数	人	700	550	D	A	B	B	A	B	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)
566	社会教育課		10	06	04		青少年健全育成表彰事業	青少年の健全育成を目指す	青少年の健全育成のため、育成表彰を行う。	青少年健全育成大会において表彰を行った。 個人34人、17団体	75	表彰者数		個人50 団体20	個人34 団体17	D	A	B	C	C	B	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)
567	社会教育課		10	06	04		家庭の日普及事業	青少年の健全育成を目指す	青少年の健全育成のため、家庭の日普及などの事業を行う。	家庭教育を考える強調月間の推進と日頃家庭の日を意識するように、絵画・標語・詩を募集し、入賞作品を展示・公開した。 優秀作品を掲載した啓発物を作成し、配布し、啓発を図った。	45	作品応募数(総数)	点	1700	726	E	A	A	A	A	A	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)
568	社会教育課		10	06	04		青少年教育推進事業	体験イベントを通して学習の大切さや自然のしくみ、人と人とのふれあいを深めることにより、青少年の社会性と道徳心を育成する。	子どもたちの実体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図るため、青少年の科学体験、親子体験教室、おちばの里とうげ祭り、子どもフェスタ等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の科学体験 青少年に科学体験を通じて、物づくりの楽しさ、創意工夫の大切さを学ぶ機会を提供した。 11ブース設置、800人参加 ・おちばの里とうげ祭り 大知波峠寺跡周辺をメイン会場に自然と文化財及び参加者同士のふれあいイベント 92人参加 ・親子体験教室 自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため、「親子キャンプ」「自然観察会」などを4回実施した。 参加者 69組 201人 ・子どもフェスタ アミニティプラザのメインアリーナ、サブアリーナで、ゲーム・スポーツを行い友情、親交を深めた。 参加者 950人 	1964	イベント参加者数	人	2100	2043	A	A	A	A	A	A	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)
569	社会教育課		10	06	04		青少年育成団体支援事業	青少年育成団体の活動を支援し、団体の活性化を図ることにより、青少年の健全育成を目指す。	子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対して、その活動を支援し、青少年の健全育成と活動の活性化を図る。	子ども会連合会、湖西少年少女発明クラブ、ボーイスカウト湖西協議会、湖西フロンティア倶楽部の活動に対し補助をした。	1579	発明クラブ活動参加者数	人	75	55	D	A	A	A	A	A	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)
570	社会教育課		10	06	04		明湖会活動事業	大人が様々な形で青少年に関わり、良好な環境づくりを進めていく。	明るい地域づくりと青少年健全育成活動を実践するため、明湖会への補助を行う。	明湖会の活動に対し補助をした。	2972						A	A	A	A	A	青少年の健全育成を図るためには必要。	改善(その他)

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗 必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
571		社会教育課	10	06	04	★	青少年育成センター活動事業	街頭補導活動、相談活動を行うことにより、青少年非行を防止する。	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動、青少年環境の浄化など関係機関と連絡調整を図り、青少年健全育成活動を行う。	街頭補導活動では、青少年補導員46人を委嘱し、青少年の非行防止のため市内各地区ごとで街頭補導を実施した。延べ644人参加 ヤングがやル湖西（相談窓口）で青少年の電話相談を行った。	1112	補導実施回数	回	140	140	A	A	A	A	A	青少年非行を防止のため、街頭補導活動が重要になるため必要	改善(その他)